

会員へのお知らせ

第77回学術講演会シンポジウム課題の決定ならびに担当希望者公募について

(開催地：岡山市 学術集会長：岡山大学 教授 増山 寿)

さきに本誌会告により2025年に行われる第77回学術講演会シンポジウム希望課題を会員から公募し、その結果下記の2課題を採用することが決定しております。

つきましては、課題担当者を公募いたしますので、希望者は下記要領によりお申込み下さい。

シンポジウム1(周産期・女性ヘルスケア)

「予防医学の視点からみた適切な周産期医療を目指して～プレコンセプションケアから中高年のヘルスケアまで～」

〔解説〕

周産期医療は、妊娠、出産、産褥を扱うのみならず、妊娠合併症の発症予防、基礎疾患の重症化予防あるいは妊娠予後の改善、さらには将来の母体の疾患予防という予防医学の要素を含み、女性の生涯の健康に関わる領域である。

近年、厚生労働省から妊娠・出産、産後の健康管理を支援するためにプレコンセプションケアの体制整備を図ることが明示され、予防的医療介入の重要性が認識されている。若年女性のやせや肥満の頻度は増加し、排卵障害による不妊症や、妊娠糖尿病や妊娠高血圧症候群など妊娠合併症のリスクとなることが示唆されている。中高年期における糖尿病、高血圧、脂質異常症などの生活習慣病発症が、不妊症の一部や妊娠合併症に関連することも解明されつつある。将来の月経異常、不妊症、妊娠時の更なる合併症予防の視点から、帝王切開率の上昇に伴い頻度が増加している帝王切開癒痕症候群の発症予防策を講じることは大きな課題である。晩婚・晩産化に伴い増加傾向にあるART妊娠や、子宮筋腫、子宮内膜症、子宮腺筋症などの婦人科良性疾患合併妊娠による妊娠合併症の予防を目指した妊娠前からの管理も求められている。

本シンポジウムでは、妊娠前から周産期、産後、中高年期にいたる女性のライフステージを通した母体の健康管理の一翼を担う視点から、将来の疾患予防につながる周産期医療のあり方を見出す臨床および基礎研究を広く募集する。

〔キーワード〕

予防医学、周産期医療、女性のライフステージ、疾患予防、妊娠合併症予防、重症化予防、プレコンセプションケア、若年女性のやせ・肥満、妊娠糖尿病、妊娠高血圧症候群、帝王切開癒痕症候群、生活習慣病、ART妊娠、婦人科良性疾患

シンポジウム2(腫瘍)

「分子生物学的知見を考慮した本邦における新しい子宮体癌の診断・治療戦略」

〔解説〕

TCGAプロジェクトの成果として、子宮体癌を分子生物学的特徴に基づいて4つのタイプに分類できることが報告された。ヨーロッパを中心に行われた検証で、この分類が正確に腫瘍の臨床的振る舞いや予後を規定することが明らかになるとともに、より簡便な診断法も開発された。欧米では、新しい分類をもとにしたデザインによる大規模臨床試験(PORTEC4a 試験及びRAINBO 試験)がすでに始動している。2022年にはESMO、NCCNの両ガイドラインに初めてこの新分類が採用され、分子生物学的特徴に基づいた治

療選択が臨床に導入されつつある。最新の FIGO 進行期にも分子生物学的な要素が取り入れられ、この流れは世界的なものとなっている。

一方、本邦では、ペムプロリズマブが MSI-high の固形癌を適応として保険収載されたことを契機に子宮体癌の治療戦略に分子生物学的な考え方が導入された。しかし、POLE の sequencing が保険収載されていないことなど、本格的な導入にはいくつかのハードルが存在する。また、手術完遂度の評価や術後補助療法の内容が欧米とは異なる我が国において、同じ分類に基づく治療選択の妥当性は明らかではなく、独自の検討が必要である。

本シンポジウムでは、分子生物学的知見に基づく子宮体癌の治療選択の臨床実装に向け、TCGA の分類のみに限定することなく幅広く基礎から臨床、診断から治療に亘る研究の応募を求めたい。それによって、本邦の実情に適合した新しい診断・治療体系を構築する端緒としたい。

〔キーワード〕

子宮体癌, TCGA, 分子生物学的分類, バイオマーカー, コンパニオン診断, 治療選択, 分子標的治療薬, 新規治療薬開発

提出期限：2023年11月30日(木)必着

応募方法：申込用紙を本会学術委員会ホームページからダウンロードし、オンラインシステムより提出のこと。

添付書類：関連論文2編の別刷を添付すること。疫学データを使用する際には、倫理委員会の承認を得た疫学研究のプロトコールもしくはデザインペーパーも同時に添付すること。

応募上の注意

- 1) 日本産科婦人科学会会員であること。
- 2) 同一機関から同一課題についての応募は単数であること。
- 3) 同一会員が二課題以上には応募できません。
- 4) 応募者は単名であること。連名は受け付けません。
- 5) シンポジウムの表題、演者名、抄録内容*、倫理的配慮**、利益相反***など、応募内容については、すべて演者の責任で確認したうえで応募してください。

*応募内容(不採用を含む)、抄録ならびに発表内容に不正(データの捏造、改ざんや盗用)が発覚した場合、学術講演会発表に関する内規に従い処分されることがあります。

**「ヘルシンキ宣言」,「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省・経済産業省)」,「遺伝子治療等臨床研究に関する指針(厚生労働省)」,「ヒト受精卵の作成を行う生殖補助医療に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省)」などの医学研究に関する指針、本会の倫理に関する見解を遵守して下さい。また、臨床研究においては患者個人情報保護に十分に配慮して下さい。抄録上明らかな重大な違反は不採用となります。シンポジウム演者採用後、発表時もしくは発表後に重大な違反が発覚した場合、学術講演会発表に関する内規に従い処分されることがあります。

***臨床研究(ヒトまたはヒトから得た検体に関する研究)に該当する場合、本会の利益相反に関する指針、同運用細則に従い利益相反を申告して下さい。同指針違反者は同指針・運用細則に従い措置を受けることがあります。

2023年7月